

## 優秀賞

ありがとう、なみだがでたよ

山形県 長井小学校 一年

原田 真聡

小学校に入学してから、ぼくは2年生といっしょにとうこうしていました。そして、いつもおとうさんがとちゅうまで、いっしょにあるいてくれていました。

ぼくたちは、ときどきとうこうちゅうにはしってしまって、おとうさんに、

「あぶないからはしるな！」と、なんどかちゅういされてきました。それでも、またはしってしまって、4月のおわりごろに、ぼくはころんでしまいました。手やひざやかおがちだらけになって、おでこはなとくちびるがはれてしまいました。そのとき、(おとうさんにいわれてたのに、だめだったな。このかお、みんなにわらわれちゃうかな。はしらなければよかった)と、いろいろなことをかんがえました。

それからぼくは、5年生のなつきさんとららさんと、いっしょにとうこうすることになりました。その5年生たちは、

「ここは、1れつにならぼうね。」

「オッケー。いま、わたっていいよ。」と、たくさんこえをかけてくれました。

いえにかえってから、おかあさんに、5年生たちとのとうこうはどうだったかきかれました。ぼくは、2人がいってくれたことをはなしました。するとおかあさんは、

「2人はやさしいね。ひろいほどうのとき、5年生はどうしてくれたたのかな？おうだんほどうをわたるときは？」と、きいてきました。ぼくは、(どうしてそんなことをきくんだらう)とおもいながら、「5年生は、はじとはじにいたよ。たてにならんだときは、まえとうしろにいたよ。」

といいました。すると、おかあさんは、2人がなぜはじとはじをあるいたり、まえとうしろをあるいたりしてくれたのかおしえてくれました。ぼくは、2人がそうしてくれていたことにもきづいていなかったし、ぼくたちをまもるためにしてくれていたなんて、かんがえもしなかったので、とてもおどろきました。

そして、おかあさんは、なつきさんのおかあさんがぼくのことをずっとしんぱいしてくれていて、なつきさんに、「あんぜんにじゅうぶんにきをつけて、ぼくたちをつれていくように」と、はなしてくれていたことも、おしえてくれました。

ぼくは、おかあさんからそのはなしをきいたとき、(みんなやさしいな。ありがとう)とおもって、なみだがどんどん出てきて、とまらなくなりました。そして、(みんなこんなにかんがえてくれているんだから、ぼくもきをつけてとうこうするぞ!)と、おもいました。

あれからずっとあんぜんにとうこうできているのも、なつきさんやららさんやみんなのおかげです。これからも「みんなありがとう」とおもいながら、きをつけてとうこうします。